

1 確かな学力のために

(1) 新学習指導要領の理念を踏まえたカリキュラム・マネジメントの確立【教育課程】

- ①総則に示されている「教育課程編成の一般方針」を踏まえ、教育課程を適切に編成・実施する。
- ②教育活動の実施結果について、子どもの姿から評価を行い、教育課程の改善を図る。
- ③キャリア教育やふるさと教育等今日的な視点をもった地域の人的・物的資源の有効活用を図る。

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進【教科指導】

- ①「学習課題」や「まとめ」の板書、「振り返り」を確実に位置付けた授業づくりに努める。
- ②いろいろな人との対話（学び合い）を重視した授業づくりに努める。
- ③教える場面と思考・判断・表現させる場面を効果的に設計し関連させながら指導していく。
- ④全校で統一した学習起立を授業の中で徹底し、望ましい学習態度を育てる。

(3) 基礎的・基本的な学力の定着に向けた多様な学習機会の充実【学力の向上】

- ①宿題や自主学習等、家庭学習の質的向上を目指した取組を進める。
- ②朝学習や長期休業中の学習サポート等を意図的・計画的に実施する。
- ③子ども一人一人のよさや可能性を生かすため、ICT 機器や外部人材等、人的・物的教育環境を活用し、学ぶ意欲の向上を図る。

(4) 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進【特別支援教育】

- ①保護者の思いを受け止め、子どもの「困り感」に応じ、指導内容や指導方法の工夫に努める。
- ②個別の教育支援計画・指導計画を策定・活用し、必要な教育的支援の充実に努める。
- ③コーディネーターを中心とした校内体制を充実させ、外部機関からの指導・助言に基づいた適切な支援の具体化を図る。

(5) コミュニケーション能力の素地・基礎を培う外国語活動の実施【外国語活動】

- ①ALT 等、外部人材との連携を深め、そのよさを生かす学習を展開する。
- ②指導方法の交流・研修等による全校体制で授業力の向上を図るとともに指導計画の改善を行う。
- ③指導の効果を充実、持続させられるように、掲示物など英語の言語環境を整える。

2 豊かな心を培うために

(1) 命を大切に作る心や思いやりの心、規範意識を育む道徳教育の推進【道徳教育】

- ①道徳教育推進教師を中核に「考え、議論する」道徳授業の確実な実施と実践交流を図る。
- ②指導と評価が一体となった指導展開を図る。
- ③参観日における道徳の授業公開や学級通信による発信等により、道徳教育に対する家庭の理解を深める。

(2) 問題解決や探究活動に主体的に取り組む総合的な学習の時間の推進【総合的な学習の時間】

- ①地域の人との交流や友達との探究活動などを行い、協働的に取り組む態度を育てる。
- ②言語活動を重視し、調べたことをまとめたり発表したりする活動を適切に位置付ける。
- ③全体計画及び年間指導計画の工夫と改善を図る。

(3) 集団生活を通してより良い生活や人間関係を築こうとする態度を育成する特別活動の推進【特別活動】

- ①行事を通して子どもに育てたい力(ねらい)を明確にし、それに迫る活動内容を工夫・創造する。
- ②教師の適切な指導の下に、子どもの自主的、実践的な態度を育てる活動を進める。
- ③いじめを許さない学校風土の醸成と児童主体の取組の推進を図る。

(4) **「全ての児童の担任」を意識した生徒指導の推進【生徒指導】**

- ①全教育活動を通して生徒指導の機能を生かした指導にあたれるよう努める。
- ②相手の顔を見て、自分から進んで、いろいろな人に挨拶しようとする態度を育てる。
- ③子ども一人一人が周囲から認められる場や機会を設定し、自己有用感を育てる。

3 健やかな体を育むために

(1) **望ましい運動習慣を身に付けさせ体力向上させる指導の推進【体育指導】**

- ①運動の楽しさや「できた」という実感を味わわせる授業づくりに努める。
- ②体力テストの結果から課題を明らかにし、体育の授業改善を図る。
- ③年間を通して児童が目標をもって取り組める体力づくり活動を推進する。

(2) **望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康を維持・増進する保健指導の推進【保健指導】**

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発や生活リズムの調査結果の公表を通し、家庭と連携して望ましい習慣を身に付けさせる。
- ②関係機関との連携や外部講師活用による薬物乱用防止教室や性教育に関する指導を行う。
- ③栄養教諭と連携した食育の授業や給食時間における指導の充実を図る。

4 信頼される学校づくりを進めるために

(1) **家庭や地域との連携による「開かれた学校」づくりの推進【連携・協力】**

- ①学校だよりやまちコミメール等を活用した情報発信と学校運営協議会の活性化を図る。
- ②学習参観日・家庭訪問・懇談会などの計画的な実施と内容の充実を図る。
- ③参観や研修を通して、保・小・中との連携を深め、連続性を重視した指導を進める。
- ④地域との双方向の交流を推進する。(港北コミセンまつり、港北まつり等)

(2) **教師の指導力の向上と日々の授業改善に直結する研修活動の実施【研修活動】**

- ①具体的な数値や児童の姿で指導の成果を評価し、校内研修の工夫・改善に努める。
- ②指導主事等の外部人材の招聘や研究会・研修会等への積極的参加や成果の還流を通して指導力の向上に努める。
- ③複式校の課題克服につながる指導の取組と校内研究・研修活動との関連を図る。

(3) **学校の教育課題の解決を目指した評価活動の実施【教育評価】**

- ①学校経営や学級経営に数値目標を導入し、PDCA サイクルによる改善を行う。
- ②児童一人一人に自己有用感や自己の成長を実感させる評価を実施する。
- ③教育活動の改善につながる児童・保護者アンケートの実施と評価結果の公表を適切に進める。

(4) **児童の生命と身体の安全を確保する環境整備と指導体制の確立【教育環境】**

- ①保護者・地域からの情報収集や校区内の巡視などを行い、児童の実態把握に努める。
- ②児童の実態に応じて迅速且つ適切な指導を行い、事件・事故の防止に努める。
- ③情報管理も含めた、施設・設備の安全点検や児童の行動観察から危険性を捉え、安全な環境づくりに努める。
- ④適切な言語環境(挨拶や言葉遣い等)と、教育環境としての教師自身の所作に配慮する。